

群馬県におけるゲノム医療の課題と対策

課題

1. がんゲノム医療（がんパネル検査）の拠点化へ向けて

群大病院、県立がんセンターが提供している「がんパネル検査」は現在、国立がんセンターの「連携病院」の一つという位置づけ。より上位の中核拠点病院（全国12箇所）、拠点病院（全国33箇所）を将来的に目指したい。

2. ゲノム医療、遺伝医療（出生前診断や遺伝子診断など）を担う専門職の人材不足

臨床遺伝専門医、遺伝性腫瘍専門医、認定遺伝カウンセラー、専門看護師、バイオインフォマティシャンなど

3. 県民や医師、医療機関へのゲノム医療情報の提供の場が少ない

対策

人材や組織など、種々の基準をクリアする必要性

県内医療系大学の連携による人材育成

- ・群馬県医師会との連携
- ・市民公開講座の実施
- ・中高等機関への出前授業など

「群馬県ゲノム医療対策会議」令和4年7月設置済み

ゲノム医療（がんゲノム含む）の充実にむけた遺伝子診療体制の構築

